



# にかさい

江戸川区立第二葛西小学校

令和8年2月27日発行

## 1年間 ありがとうございます

校長 吉田 佳代

校庭の木々にも、柔らかな春の気配が感じられる頃となりました。今年度もいよいよ締めくくりの時を迎えます。子どもたちは、この一年で心も身体も大きく成長しました。嬉しかったこと、思うようにいかなかったこと、その一つ一つが子どもたちにとって、確かな歩みにつながっています。

### 「未来へ」

#### 未来へ

♪ ほら 足元を見てごらん これがあなたの歩む道  
ほら 前を見てごらん あれがあなたの未来 ♪



これは、卒業ソングでも有名な「未来へ」の歌詞です。「足元を見る」とは、これまで自分が積み重ねてきた努力や、支えてくれた人の存在に気付くこと、「前を見る」とは、これから自分がどんな人になりたいかを思い描くこと、ではないでしょうか。

この曲は、母から子へ向けた無償の愛と、子どもの自立を願う優しいエールを歌った楽曲です。「今」を大切に生き、足元を見つめて一歩ずつ前を向いて未来へ進んでいこうという強いメッセージが、卒業式や成人式など、人生の節目で世代を越えて、愛され続けています。

実は、この曲の原型は、当時中学3年生だったボーカルの女性が、普段口にはだせない母親への感謝の気持ちを歌で表したものだそうです。こんな気持ちのこもった歌を受けとったら、母親冥利に尽きますね。このエピソードを聞いて、3月になると、私はきまって、この曲を思い出します。この曲を聴いていると、どんなに不安を抱えていても、一步一步進んでいけば大丈夫という、力強いメッセージを受け取ることができ、力が湧いてきます。

### バトンを渡す時

3月は、別れの季節であると同時に、新たな出発の季節でもあります。卒業する子どもたちには、自分の歩んできた道に自信をもち、未来へ力強く進んでほしいという願いがあります。また、3月は、6年生が5年生へ、5年生は4年生へと、学校全体で「バトンを引き継ぐ月」となります。

子どもたちがバトンをしっかり受け取り、「人生という一本の道」を走る。バトンを渡してくれた相手に、一歩でも近づこうと努力し、丁寧にバトンをつなぐ。この繰り返し「伝統を創る」ということになると考えています。

そして、このバトンには、子どもたちの思いだけでなく、保護者や地域の方々など、多くの方々の思いや願いが込められています。今後も温かく本校の教育活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、学校全体で、バトンをつなげてまいります。

最後になりましたが、この一年間、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を賜りましたことを、心より深く感謝申し上げます。令和8年度も、第二葛西小学校がさらにより学校になりますよう、尽力してまいります。子どもたち、一人一人の未来が明るく豊かなものになりますよう、春の光とともに、新しい一歩を踏み出す3月にしていきます。

今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【3月の暗唱】「俳句」 3月は、春の訪れを感じる俳句です。ぜひお家で、一緒に練習してみてください。

春の海 ひねもすのたり のたりかな(松尾 芭蕉) 「のたり のたり」の音を楽しんでください。どんな海が浮かびますか。

春風や 闘志いだきて 丘に立つ(高浜 虚子) 特に6年生に向けての俳句です。「新しい気持ち」をぜひ抱いてほしいですね。